

平成26年度 第1回 特別名勝岡山後楽園保存管理委員会開催結果について

■平成26年度 第1回 特別名勝岡山後楽園保存管理委員会

開催日：平成26年7月4日（金） 午後2時から

開催場所：岡山後楽園 鶴鳴館本館

出席委員：千葉喬三委員、尼崎博正委員、南 智委員、神原邦男委員、
岸多枝子委員、万城あき委員

■議 題

- (1) 平成26年度実施事業について
- (2) 灯籠修復整備について
- (3) 植栽管理計画について

■議事概要 別紙のとおり

平成26年度 第1回 特別名勝岡山後楽園保存管理委員会開催結果について

- 1 開催日：平成26年7月4日（金） 14：00～16：00
- 2 開催場所：後楽園鶴鳴館本館
- 3 出席委員：千葉喬三委員、尼崎博正委員、南智委員、神原邦男委員、岸多枝子委員、万城あき委員

4 議題

(1) 平成26年度実施事業について

- ・屋根葺替工事（延養亭、茂松庵）、灯籠修復整備（茶庭型灯籠）、植栽・植生整備を実施する。

(2) 灯籠修復整備（茶庭型灯籠）について

- ・昭和8年の写真（宝珠に穴が開いている）と本瓦葺きのデザインは、正徳の絵図とよく似ていることから、形は昭和8年の写真を参考とする。
- ・火袋は正円よりも少し扁平した形状とする。
- ・火袋の厚みについては、強度や耐久性についても考慮しながら検討する。
- ・火袋の吊り下げについても、復元する方向で検討する。
- ・石材は豊島石とするが、使用する石材は切り出したものではなく玉石とする。（強度に大きく違いがある）

(3) 植栽・植生整備について

1) 主要亭舎ゾーン

- ・新殿裏のエノキが枯損し伐採したことから、延養亭前の主要園路や正門付近から園外の建築物が見える状況となっているため、遮蔽植

栽を行う。

- ・樹種はエノする。
- ・庭園外周の既存樹木の樹冠が、操山の稜線より高くなっていることについては、今後切り下げていく必要がある。

2) 二色が岡ゾーン

- ・大立石の構造に影響があるアラカシは伐採する。
- ・大立石・烏帽子岩については、目地部に植物が侵入し、石組みに影響を与えないように、今後の管理を行っていく必要がある。
- ・茂松庵周辺の既存モミジの生育環境改善と顕在化を図るため、周辺のスギやクスノキ等を一部伐採する。伐採の状況は次回の委員会で現地確認をする。
- ・茂松庵のクロマツ伐採の可否については、スギやクスノキ等を伐採した時点で現地を確認し、方針を決める。
- ・二色が岡の樹種転換については、もう少し元々の樹種構成や景観について考察し、委員会として全体のイメージを持った上で進めることが必要。
- ・地藏堂のムクノキについては保護対策を行う。

3) 正面入口ゾーン

- ・由加神社の鳥居横にあるオガタマノキについて、剪定・伐採を行うとともに、明治16年の備前国岡山後楽園真景図等を参考に周辺の植栽を実施する。

以上